

C) 普及啓発等を通じて新たな拡散を防止する種類

ベゴニア

シュウカイドウ科 *Begonia* spp.

原産地：中国など

特徴

園芸植物として流通している多年生草本。シュウカイドウ科シュウカイドウ属に属する植物の総称。日本では、シュウカイドウ(*B. grandis*)などがよく見られる。

葉：ハート型でざらつきのある葉を持つ。

花：ピンクや赤の花を咲かせる。

繁殖：シュウカイドウ(*B. grandis*)は葉の根元に無性芽をつけ、栄養繁殖を行う。また茎の断片からも生育していると考えられる。



影響：在来種との競合が懸念されている。

侵入状況：市街地周辺や山城の林道沿いの湿った箇所を中心に侵入が見られる。山城の林道沿いでは徐々に分布が拡大している様子が確認されている。

対策状況 : 未だ具体的な対策は実施できていない。

防除のコツ : 地下に塊茎をもつため、地上部だけでなく地下部まで丁寧に掘り下げる必要がある。